

伏見小だより



# 伏見っ子

令和元年度 夏休み前号

R元 7.19 発行

学校の教育目標

よく考え仲間とかかわって  
行動できる子

## 「ここからはじまる」

校長 佐野 政紀

「明日も元気に学校へ来てください。『はい』。さようなら。『さようなら』。  
集団下校時の挨拶で、児童会リーダーと伏見っ子が交わす言葉の風景です。

今日はどんな1日だったのかな。算数の勉強は分かったのかな。給食は残さずに食べたのかな。けんかはしなかったのかな。どんな力をつけたのかな…。「さようなら」と手をふりながら見つめています。

68日間の1学期が終わりました。うまくいったことも、うまくいかなかったことも含めて、無事に終了することができました。



勉強や友達関係などで悩むことがあります。そんなときどうするのでしょうか。気持ちを切り替える子、悩み続ける子、友達や先生、おうちの人を支えをもらい解決できる子と各々のようです。校長先生も自分の気持ちに負けそうになることがあります。気持ちの切り替えができることもあれば、周りの人の力をかりながら、「ここからはじまる」と自分に言い聞かせ「エイ、ヤー！」と奮起することもあります。

夏休みは一日の生活が大きく変わります。自分で生活のリズムをつくらなければなりません。「規則正しい生活」と「人・もの・こと」のふれあいを積極的につくっていくことが大切です。うまくいかないとき「ここからはじまる」と思って自分を奮い立たせてみましょう。たくさんの素晴らしい体験を重ね、また2学期に元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。

伏見小

検索

【ぼくの・わたしの『ふしみん』】学校だより 7月号にてマスコットキャラクター応募作品を公開しました。「どれもよい。どれがよい？どうしよう。」と思いを書きましたが9月号にて発表します。学校に訪問されるお客さん、伏見小児童に選んでもらう準備をすすめています。乞うご期待。